

6月景況感・ニーズ調査結果と景況感分析

＜6月の景況感・ニーズ調査の結果の抜粋と調査結果を受けてD I 値等による景況感分析＞

平成22年7月23日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

＜6月景況感・ニーズ調査＞

- ・前年同期と比べた場合では、調査項目全てで小幅な悪化傾向となり、景気が回復する中で一時的な中休み状態（踊り場入り）の兆しがあるものと思われます。
- ・6ヶ月先の見通しは、従業員の過剰感がほぼ横ばいを予想し、他の項目は改善を見込んでおり、景気回復の兆しが見える予想となっています。また、雇用は来春の採用予定者数が前年調査時の75人から127人に増え、明るい兆しを示しています。
- ・行政への要望については、発注関係、農林業支援、減税、雇用支援などが多く要望されています。
- ・本部の取組みについては、肯定的なものが26件、否定的なものが13件という結果となりました。

＜D I 値を使った業種ごとの景況感分析＞

- ・農 林 業 春の天候不順により、生産量の低下により悪化傾向、先行きも少し悪化を予想。
- ・建 設 業 引続き低水準で悪化傾向、先行きも改善を見込んでいるが低水準。
- ・製 造 業 回復傾向を継続しながらほぼ横ばい、先行きは不透明感から若干の悪化を予想。
- ・卸・小売業 改善傾向ながら採算性と資金繰りの回復が鈍い、先行きは大幅な改善を見込む。
- ・サービス業 改善傾向ながら低水準、先行きも小幅な回復傾向を予想。

＜過去の調査との分析＞

全ての項目で前年3月以降順調に回復傾向を示していましたが、今回小幅ながら悪化傾向となり、踊り場入りの兆しがありますが、先行きは改善傾向を予想しており、景気が回復傾向にあるものと思われます。ただし、業種においては、悪化を見込むものもあるため、今しばらくは注視していく必要があると思われます。

◎D I 値とは

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」で使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「D I 値」といいます。

「D I 値」は、単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法です。

6月景況感・ニーズ調査結果

なかつがわ全市緊急経済対策本部事務局

○ 調査の概要

1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになると予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の緊急経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、389事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	289	事業所
	中津川北商工会	100	事業所
	農林畜産業団体	35	事業所
	計	424	事業所

3 調査方法

アンケート方式
(調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答)

4 調査期間

6月15日～7月20日(回答期限6月30日から延長)

5 調査項目

【景況感調査】

- 1) 受注(売上高)について { ①前年同期と比べて ②前月と比べて
③6ヶ月先の見通し ④1ヶ月先の見通し
- 2) 採算性について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 3) 従業員について { ①前年同期と比べて ②前月と比べて
③6ヶ月先の見通し ④1ヶ月先の見通し
⑤平成22年春の採用予定
- 4) 資金繰りについて { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し

【ニーズ調査】

- 5) 行政に望むもの
- 6) なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

6 回答数

167件(7月20日回答分を含む)

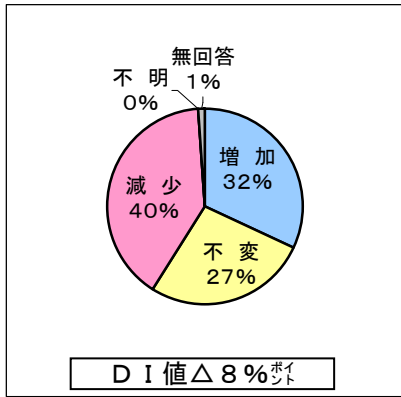
《業種別》		《地区別》	
農林業	35件	中津川	110件
建設業	29件	坂下・川上・山口	10件
製造業	47件	加子母・付知・福岡・蛭川	47件
運輸業	5件	計	167件
卸・小売業	24件		
サービス業	27件		
計	167件		

6月景況感調査結果

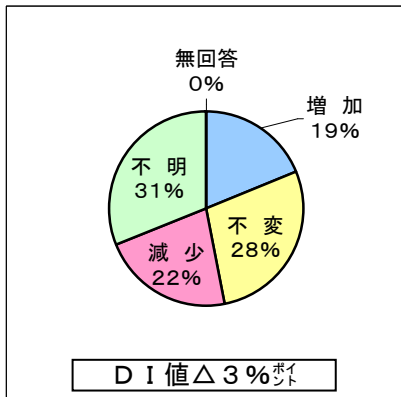
【景況感調査】

1) 受注(売上高)について

①前年同期と比べて

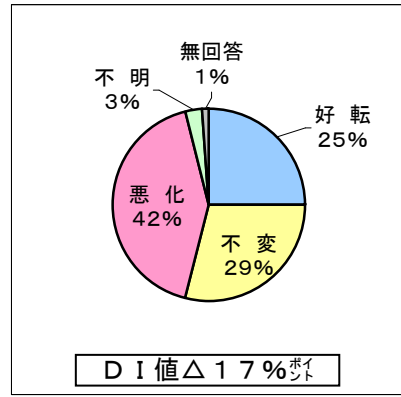


②6ヶ月先の見通し

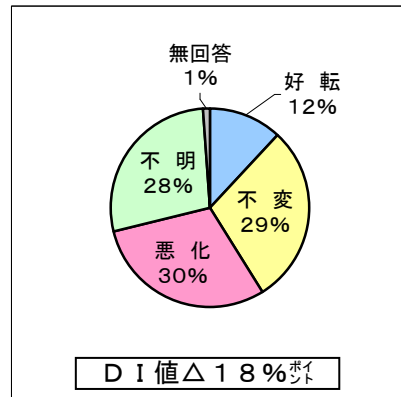


2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

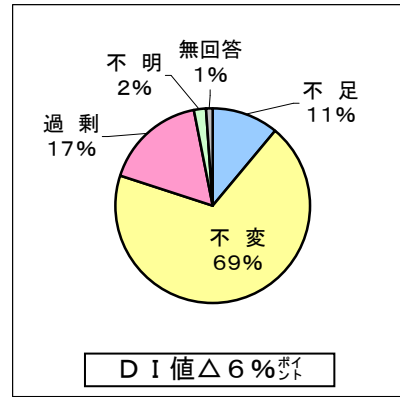


②6ヶ月先の見通し

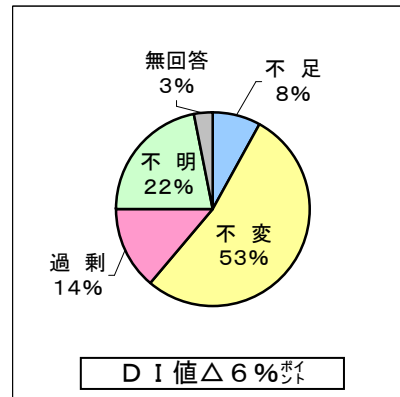


3) 従業員について

①前年同期と比べて

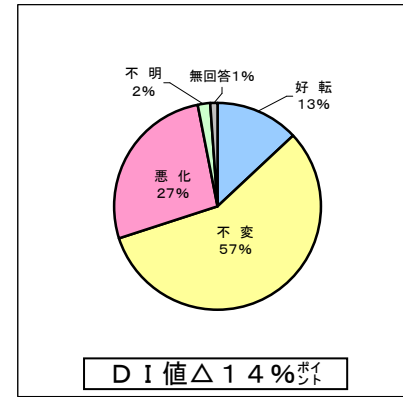


②6ヶ月先の見通し

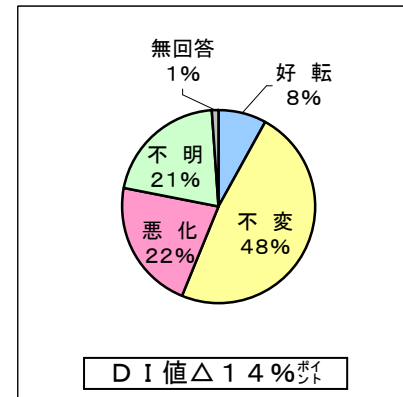


4) 資金繰りについて

①前年同期と比べて



②6ヶ月先の見通し



【ニーズ調査】

行政へ望むもの

・地元企業に優先的に工事や事業を発注してほしい。	12 件
・その他工事や事業の発注に関係するもの。	6 件
・口蹄疫対策など農林業支援に関するもの。	12 件
・各種税制での優遇や減免をしてほしい。	10 件
・雇用の安定や助成金に関するもの。	6 件
・地域などの活性化の推進に関するもの。	6 件
・緊急経済対策の継続をしてほしい。	5 件
・金融支援に関するもの。	5 件
・住宅の新築支援などに関するもの。	4 件
・その他緊急経済対策としての支援や助成に関するもの。	9 件
・市政・国政全般に関するもの	11 件
・緊急経済対策に対して「要望なし」やその他の意見	12 件
計	98 件

なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

〔肯定的な意見〕

・対策の継続や推進を期待する。	13 件
・良い事だと思う。	7 件
・とてもありがたい。	4 件
・その他「対策を評価する。」など	2 件
計	26 件

〔否定的な意見〕

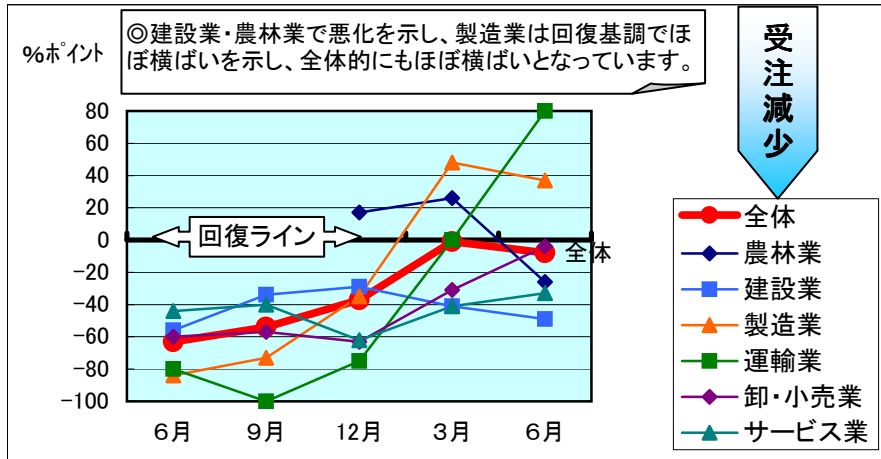
・対策が感じられない。	5 件
・特に意見なし。	4 件
・その他「効果が良くわからない。」や「対策は必要ない。」など	4 件
計	13 件

〔要望的な意見〕

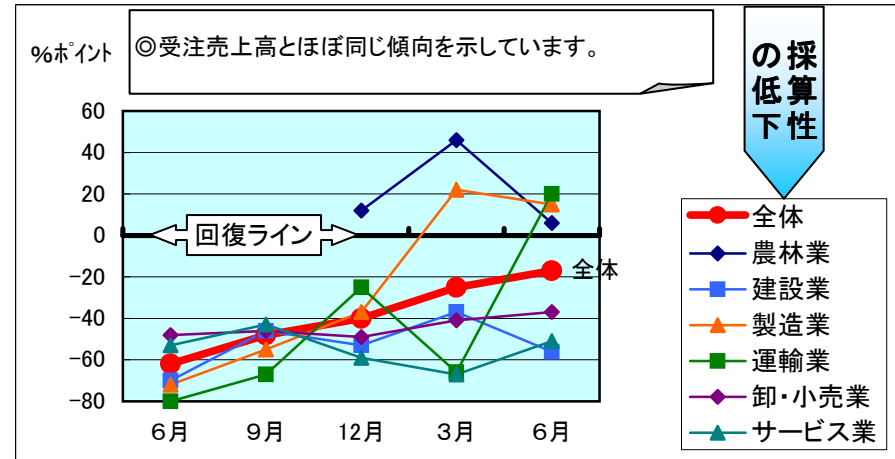
・金融支援に関するもの。	6 件
・工事や事業の発注に関係するもの。	4 件
・雇用対策に関するもの。	3 件
・地産地消の推進に関するもの。	3 件
・その他経済の活性化や取引の支援などに関するもの。	7 件
計	23 件

全体に対する業種ごとのD I 値による分析 ～前年同期と比べて～

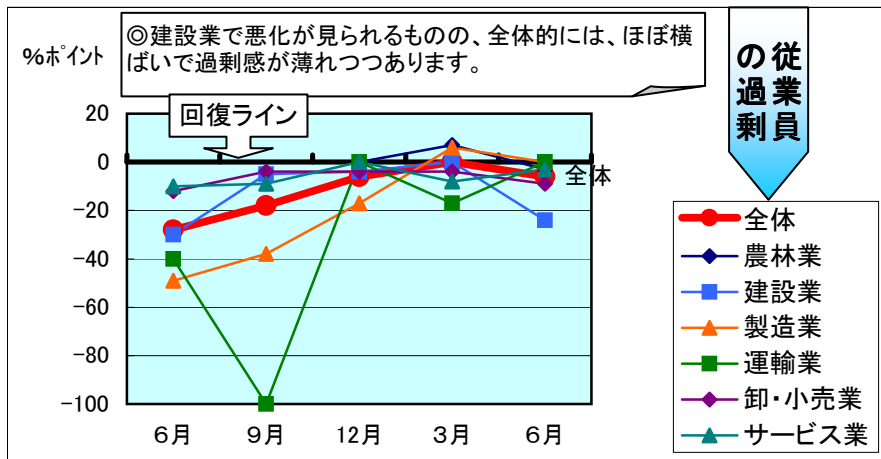
1) 受注 (売上高) について



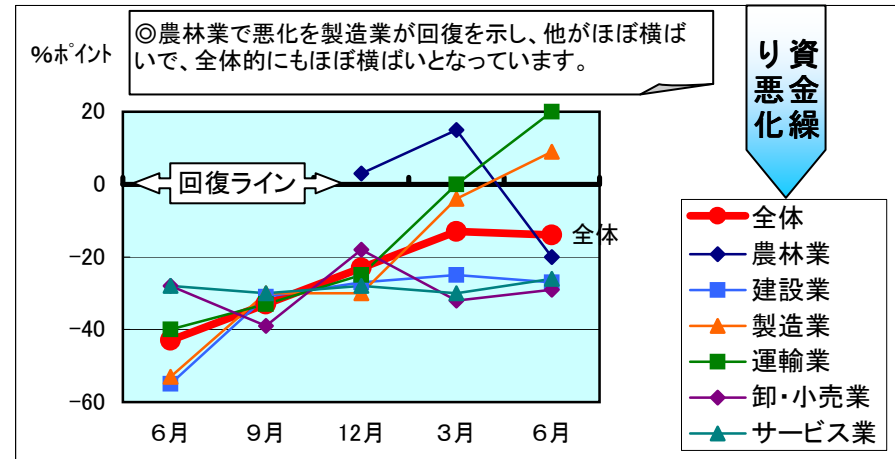
2) 採算 (収益) 性について



3) 従業員について

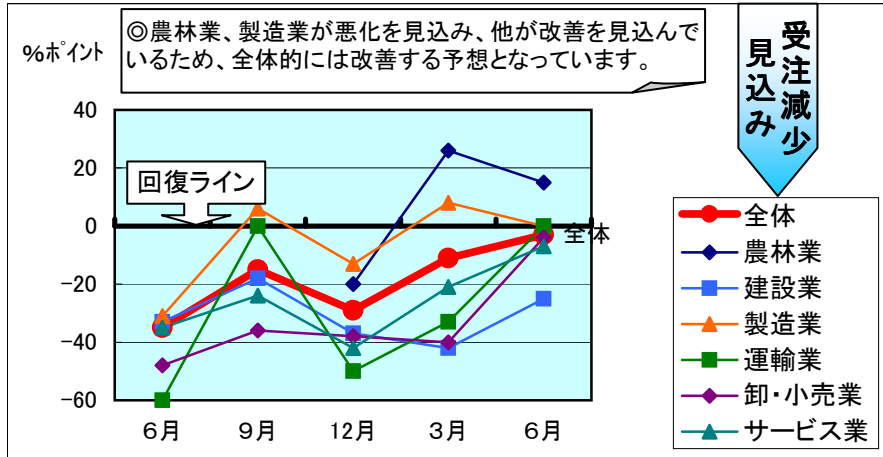


4) 資金繰りについて

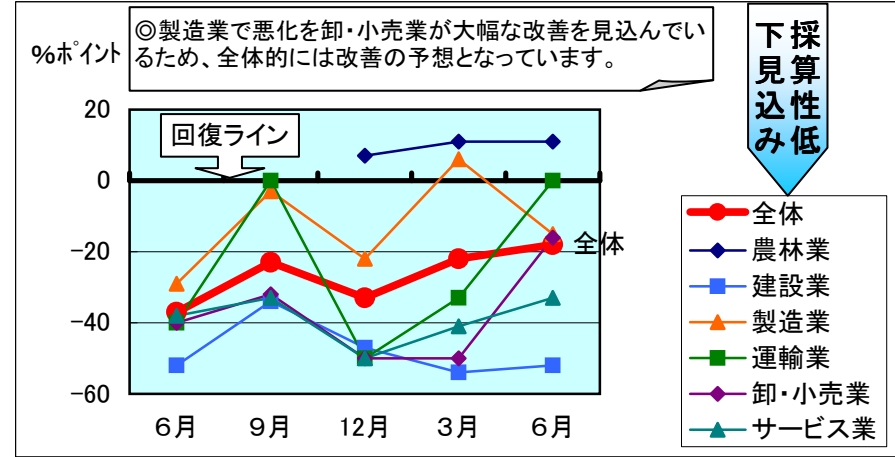


全体に対する業種ごとのD I 値による分析 ～6ヶ月先の見通し～

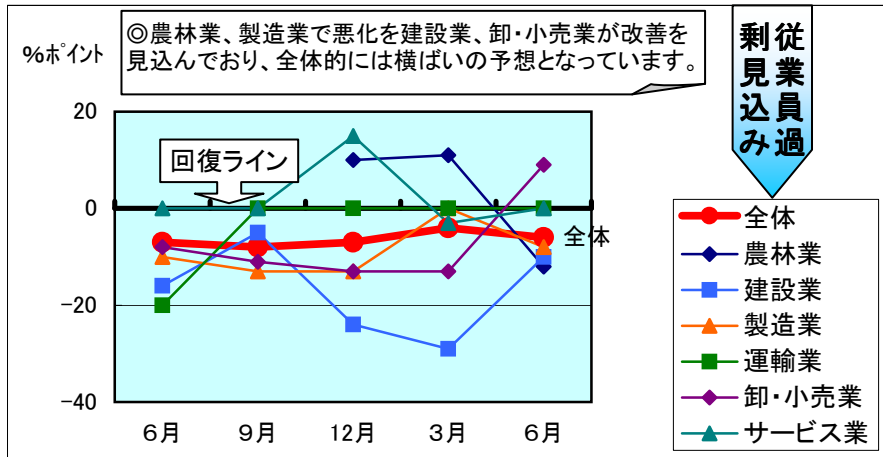
1) 受注 (売上高) について



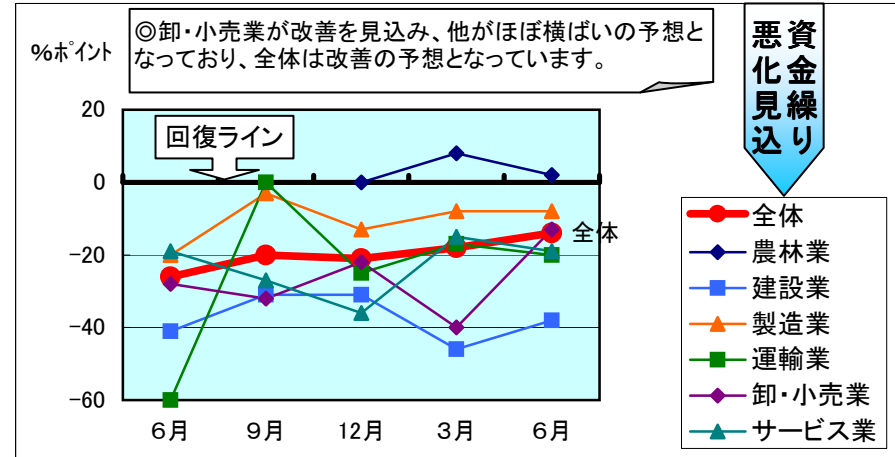
2) 採算 (収益) 性について



3) 従業員について



4) 資金繰りにについて

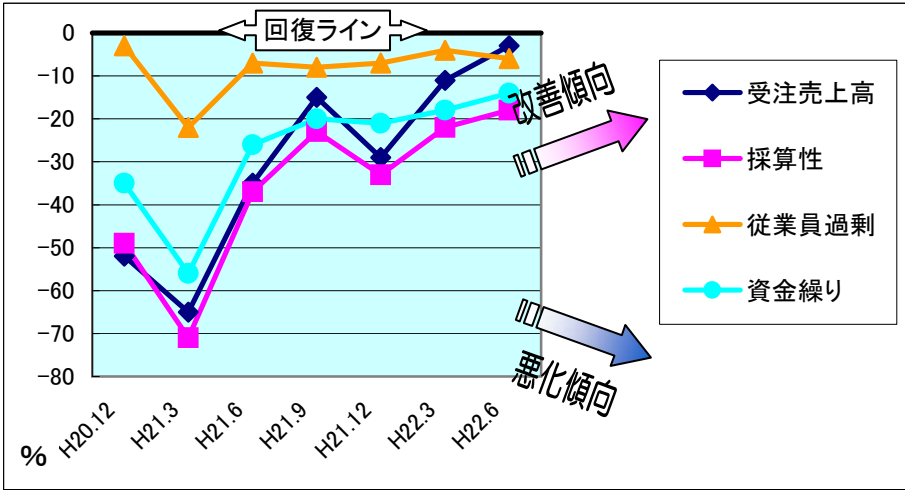
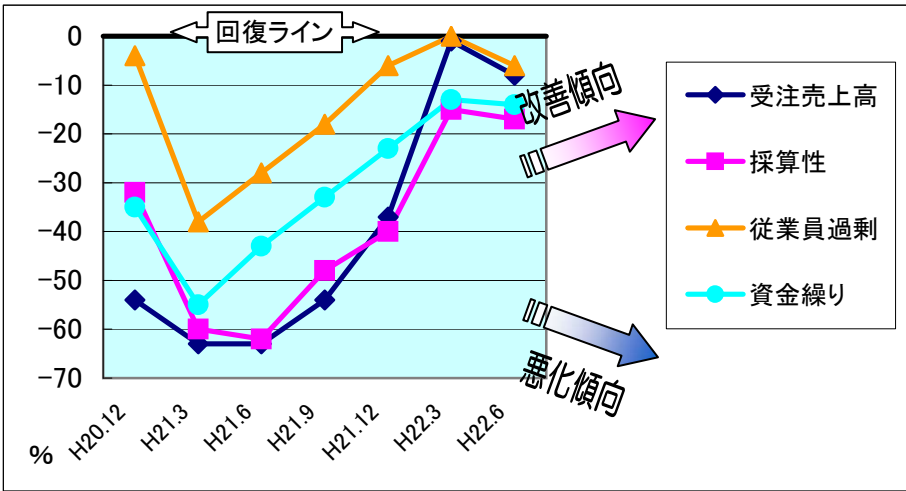


景況感調査のD I 値による分析（6月）

◎H20. 12月・H21. 3月・6月・9月・12月・H22. 3月の調査と比較して分析

設問 ①前年同期と比べて

設問 ②6ヶ月先の見通し



◎ 全項目とも前年3月以降順調に回復傾向を示していましたが、今回小幅ながら悪化傾向となっています。全体的に景気が回復する中で一時的な中休み状態の兆しがあるものと思われます。

◎ 従業員の過剰感がほぼ横ばいを予想し、他の項目は改善を見込んでおり、景気回復の兆しが見える予想となっています。

≪使用資料≫

- 会員実態・業況調査 (H20. 9～12)
- 緊急経済アンケート調査 (H21. 2～3)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 12)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 3)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 6)

- 中津川北商工会
- 中津川商工会議所
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部

- 1,172社 ⇒ H20. 12
- 100社 ⇒ H21. 3
- 159社 ⇒ H21. 6
- 150社 ⇒ H21. 9
- 222社 ⇒ H21. 12
- 167社 ⇒ H21. 3
- 167社 ⇒ H22. 6